

第 1 3 回新潟県二級河川流域懇談会 意見交換会議事要旨

1. 新潟県二級河川流域懇談会会長の選任

二級河川流域懇談会設置要綱第 4 条に懇談会の会長を委員の互選を受けて会長を置くこととなっており、委員の互選の結果、全員一致で大熊委員が会長として就任した。

2. 議事要旨

三面川水系の流況に関する意見・質問・感想

| 委員意見・質問・感想 | 事務局の回答 |
|--|---|
| 流量も多く、水質が非常に良く、流れに変化がある川らしい川である。 | |
| 河川敷の流路が固定化されている。公園的な利用もされているが、本来の河川はそういうものではない。そういうものが出来てしまうこと自体が川にはおかしい状態。堤防の外には出ないにしても、高水敷の中で自由に流れが作られるような川になると良い。 | |
| 羽越線の鉄橋下付近の河床が荒れているような雰囲気だった。今どうなっているか。河床が上がっているのか、下がっているのか。流路が定まっていない感じがする。 | 河口から河床低下の傾向にあると地元から聞いている。上流の下渡橋辺りから鉄橋の周辺は、流路が分かれたり合流したりを繰り返すような傾向がある。 |

三面川水系の地域との関わりに関する意見・質問・感想

| 委員意見・質問・感想 | 事務局の回答 |
|--|--------|
| 現地を見て、まちが河川整備によって変わっていく部分があると感じた。まちの成り立ちや、暮らしていく上の風土みたいなものを背景として書いてあると、わかりやすいという思いがある。 | |
| 三面川は子どもがよく遊んでいる。子どもたちが遊べ、なおかつ危険でない川づくりができれば素晴らしいと思う。 | |
| 川と人間の接点が随所に見られる。こうした個性を生かした整備を考えていくのだと思う。 | |
| 方針が県民の手に渡ったときに具体的に実感を持ってもらえるように考えておくとよいと思う。 | |

三面川水系の自然環境に関する意見・質問・感想

| 委員意見・質問・感想 | 事務局の回答 |
|---|--|
| <p>三面ダムから下流の河畔林がある。保全する方向で検討したい。ただし、土地の所有関係がどうなっているかわからないが。</p> | |
| <p>非常に自然にとけ込んだ川だと関心した。自然豊かな河川なので、環境を重視すると良い計画ができる。</p> | |
| <p>長年に渡り、三面川にお金が投入されてきたわけであり、勉強させてもらった。意見というまでもないが、三面川の自然を大事にしてほしい。</p> | |
| <p>外来生物が非常に少ないという印象を持った。</p> | |
| <p>河川の水量というだけの話ではなく、森林そのものを考えなければいけない。河川について考えるのであれば、森林の関係部署も含めて、こういう所で議論されてもよいと思う。</p> | |
| <p>今の河川法の体系の中で、そこまでの議論はできない。難しいところだと思う。</p> | |
| <p>河川法で治水、利水、環境の柱をうたっているのだから、それを踏まえて河川整備基本方針の項目に、環境の項目を作ることを強く要望する。</p> | <p>環境の項目については「河川の総合的な保全と利用に関する基本方針」という項目に書く予定でいる。環境を特化して項目を作ることについては検討したい。</p> |
| <p>会長として環境問題を位置付けることについての考えはどうか。</p> | |
| <p>河川法も変わっており、環境は重視することは当然。三面川はそれが一番重要だと思う。他の川には、河畔林や魚つき保安林はないし、アユもサケもこれだけ上ってくる川はない。もちろん、水害があっては困る。</p> | |

三面川水系の治水に関する意見・質問・感想

| 委員意見・質問・感想 | 事務局の回答 |
|---|--|
| <p>三条市の水害を見てきたので、三面川も水害がないように、人の力で出来ることはしていかなければならないと感じた。</p> | |
| <p>国の管理する河川は、流量の見直しを一通り終わっているが、県の管理する河川はどうなのか。</p> | <p>工事実施している河川において二級河川では三面川と天王川以外は概ね終わっている状況であり、一級河川の整備計画についても今年度中に策定を予定している。</p> |

三面川水系の河川改修に関する意見・質問・感想

| 委員意見・質問・感想 | 事務局の回答 |
|---|---|
| <p>三面川の工事は魚類や植生に配慮したもので行われてきたのか。また、今後はどのように環境に配慮する工法をやっていくのか。</p> | <p>次回懇談会で答えたい。なお、三面川は「ふるさとの川整備事業」において、全国でも一番最初に環境面に取り組んでいる。</p> |
| <p>粗朶を河川改修に利用することは、県内でどれくらいできるものなのか。</p> | <p>この場では数値的なものは把握していないが、県の実績としては非常に少ないと思う。</p> |
| <p>新潟県だけが二つ、粗朶の組合がある。北陸地方整備局はけっこう使ってきたが、県はあまり使ってこなかったと思う。県も多自然川づくりの中に、そうしたものを積極的に入れてくれればと思う。全国的に見れば、新潟県は粗朶がきちんと生産できる県として特異な存在である。</p> | |

種川に関する意見・質問・感想

| 委員意見・質問・感想 | 事務局の回答 |
|---|---|
| <p>種川の工事中に視察に行ったが、工事が終わってから機能するか疑問であった。設置の際の目的は反映されて施設の効果が出ているかを評価しているのか。</p> | <p>種川の効果については、きちんとした格好で次回の懇談会で答えたい。</p> |
| <p>観察護岸については、他の事例と比較してみたらどうか。イヨボヤ会館の館長さんは、子どもたちの関心が高くなったとして観察護岸を良く評価していた。</p> | |
| <p>種川に昔の面影がないように思う。そうなったのは、水量が少なく、泥が溜まってしまふのが一つの要因となっている気がする。種川の水量確保について工夫をしてほしい。</p> | |